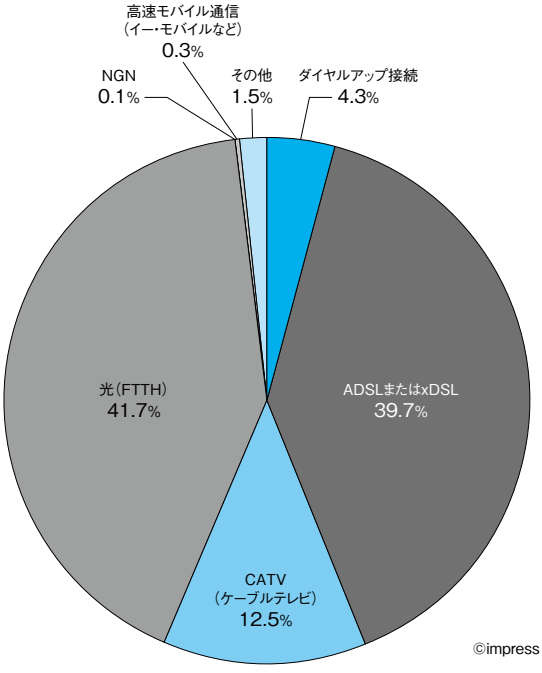
インフラ全体動向

インターネット接続方法は光が41.7%でADSLの39.7%を上回る

資料6-6-1　インターネットの接続方法　N=2,000

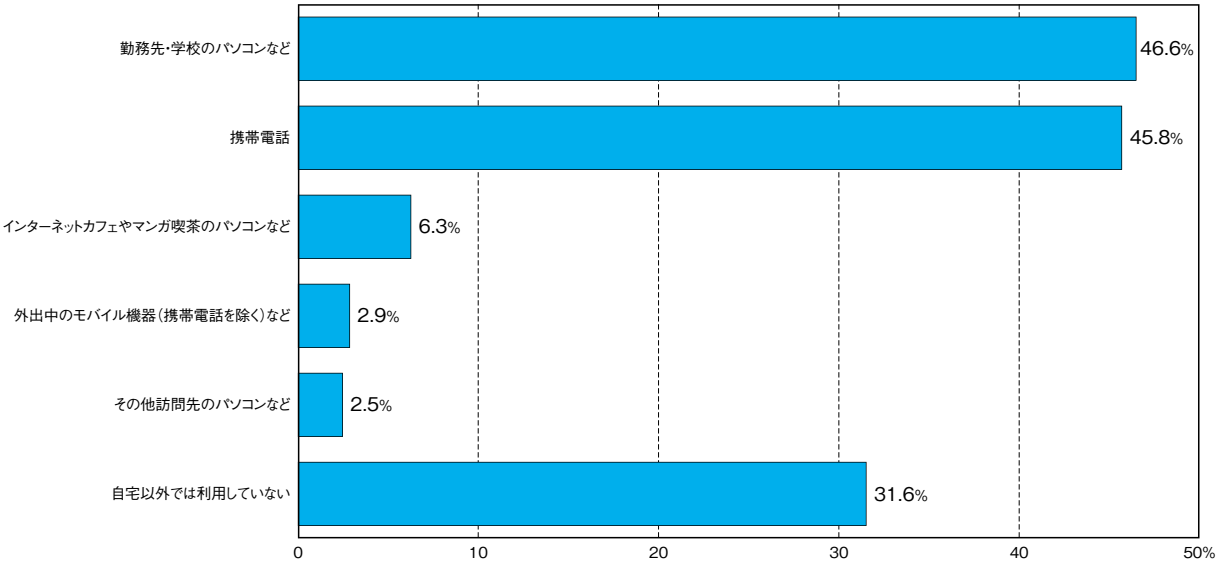


©impress R&D, 2008

インターネットの接続方法は、「光（FTTH）」が41.7％で最も高く、「ADSLまたはxDSL」の39.7%を上回っている。インターネットリサーチのモニターであることも大きく影響しているが、「CATV（ケーブルテレビ）」や「NGN」も含め、固定回線のブロードバンド利用者が94.0%となる。

半数弱は勤務先や学校、携帯電話でもインターネットを利用

資料6-6-2　インターネットの利用場所(複数回答)　N=2,000



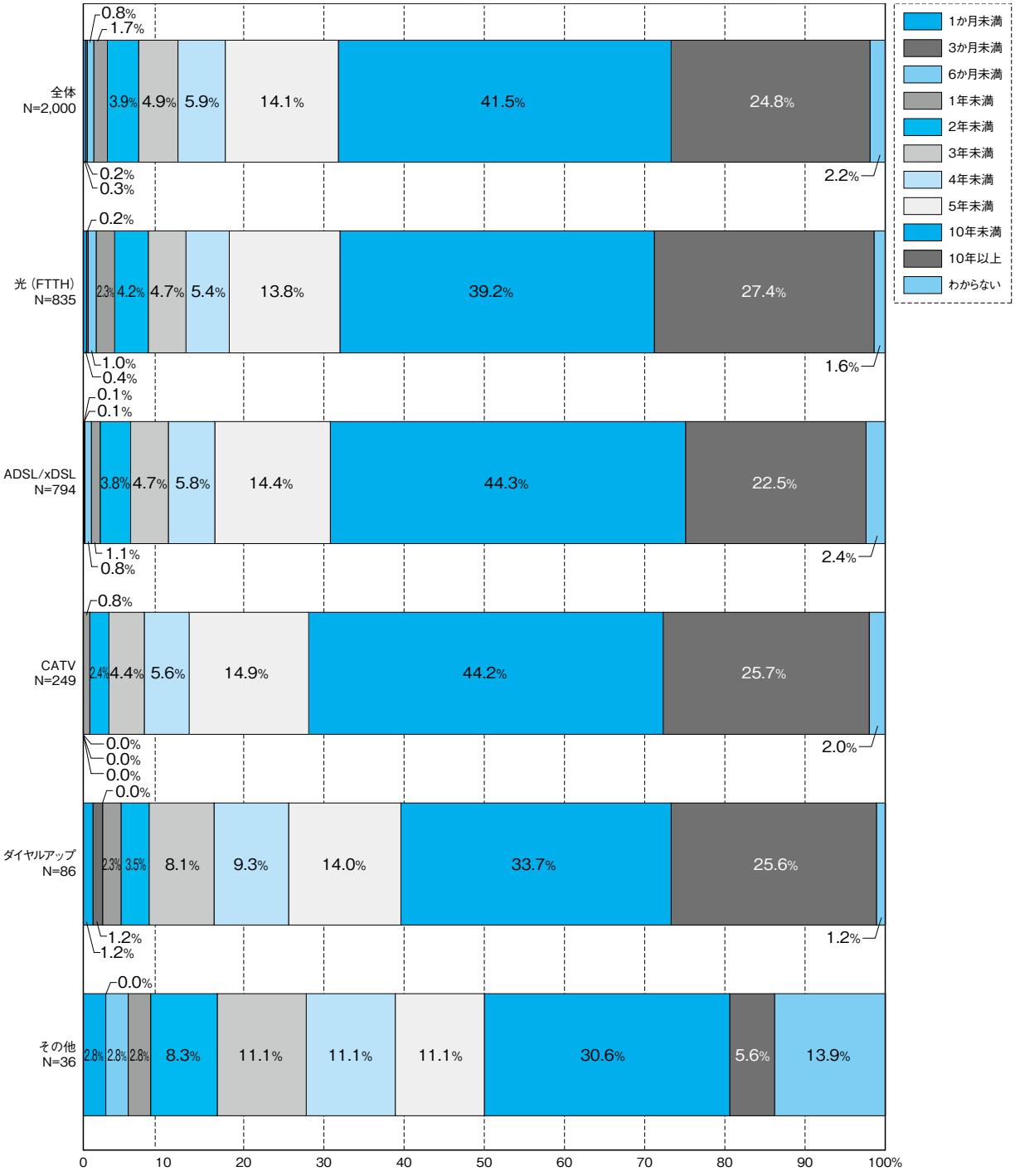
©impress R&D, 2008

自宅のパソコン以外でのインターネット利用場所をみると、「勤務先・学校のパソコンなど」が46.6%、「携帯電話」が45.8%の僅差で続く。「自宅以外では利用していない」が31.6%であり、約7割のサンプルは自宅のパソコン以外でもインターネットを利用している。

インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

インターネット利用歴は５年以上が66.3%

資料6-6-3　家庭でのインターネット利用歴[接続回線別]



家庭でのインターネット利用歴は、「10年未満」が41.5%と最も高く、「10年以上」が24.8%と続き、5年以上の利用歴が66.3%を占める。光（FTTH）とADSL/xDSL、CATVのブロードバンド利用者の利用歴に大きな差は見られないが、ダイヤルアップ利用者は利用歴が短いユーザーが多い。

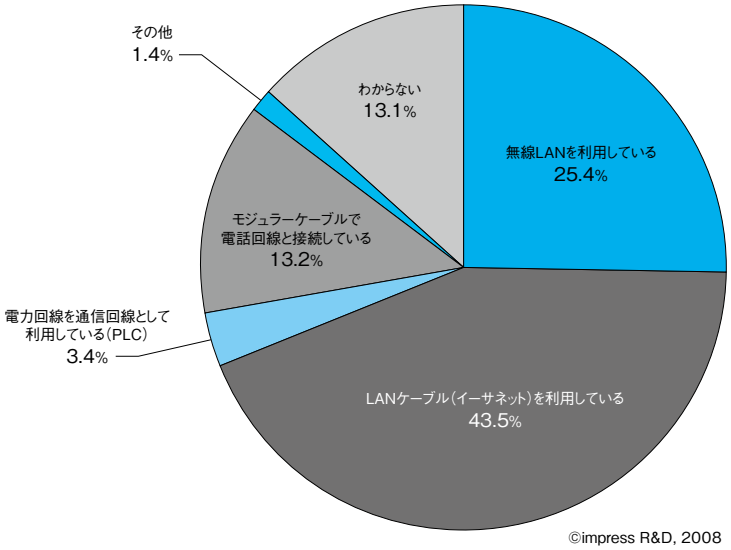
©impress R&D, 2008

インターネット白書／©1996-2012 Impress R&D

インフラ全体動向

家庭内での無線LAN利用率は25.4%

資料6-6-4　家庭内の通信回線利用状況　N=2,000

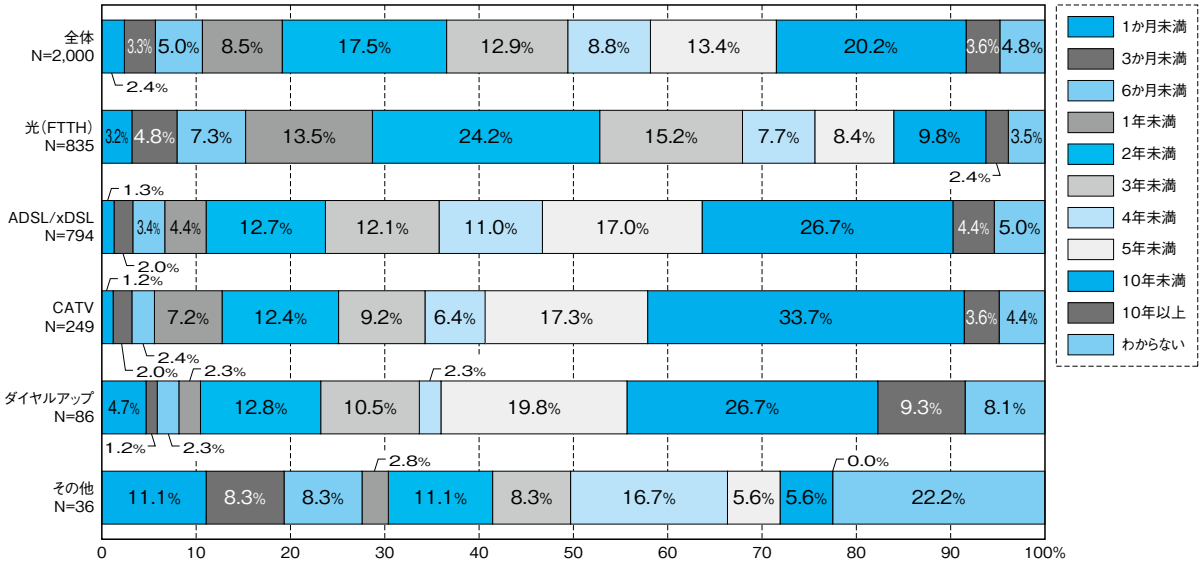


©impress R&D, 2008

家庭内の通信回線利用状況をみると、「LANケーブルを利用している」が43.5%で最も高く、「無線LANを利用している」が25.4%である。コンセントにつながる電力回線を通じてデータを送受信する「電力回線を通信回線として利用している(PLC)」は3.4%である。なお、「モジュラーケーブルで電話回線と接続している」は13.2%であるが、ダイヤルアップのユーザーは4.2%であり、誤認者も多い。

光は2年未満の利用者が53%

資料6-6-5　現在利用中の接続回線の利用歴[接続回線別]



現在利用中の接続回線の利用歴をみると、「光(FTTH)」で利用歴が短い利用者が多く、「ADSL/xDSL」「CATV」の順に利用歴が長くなり、接続回線が市場で利用・普及された順になっている。「光(FTTH)」では2年未満の利用者が合計で53.0%であり、最近の光回線の普及状況を反映している。

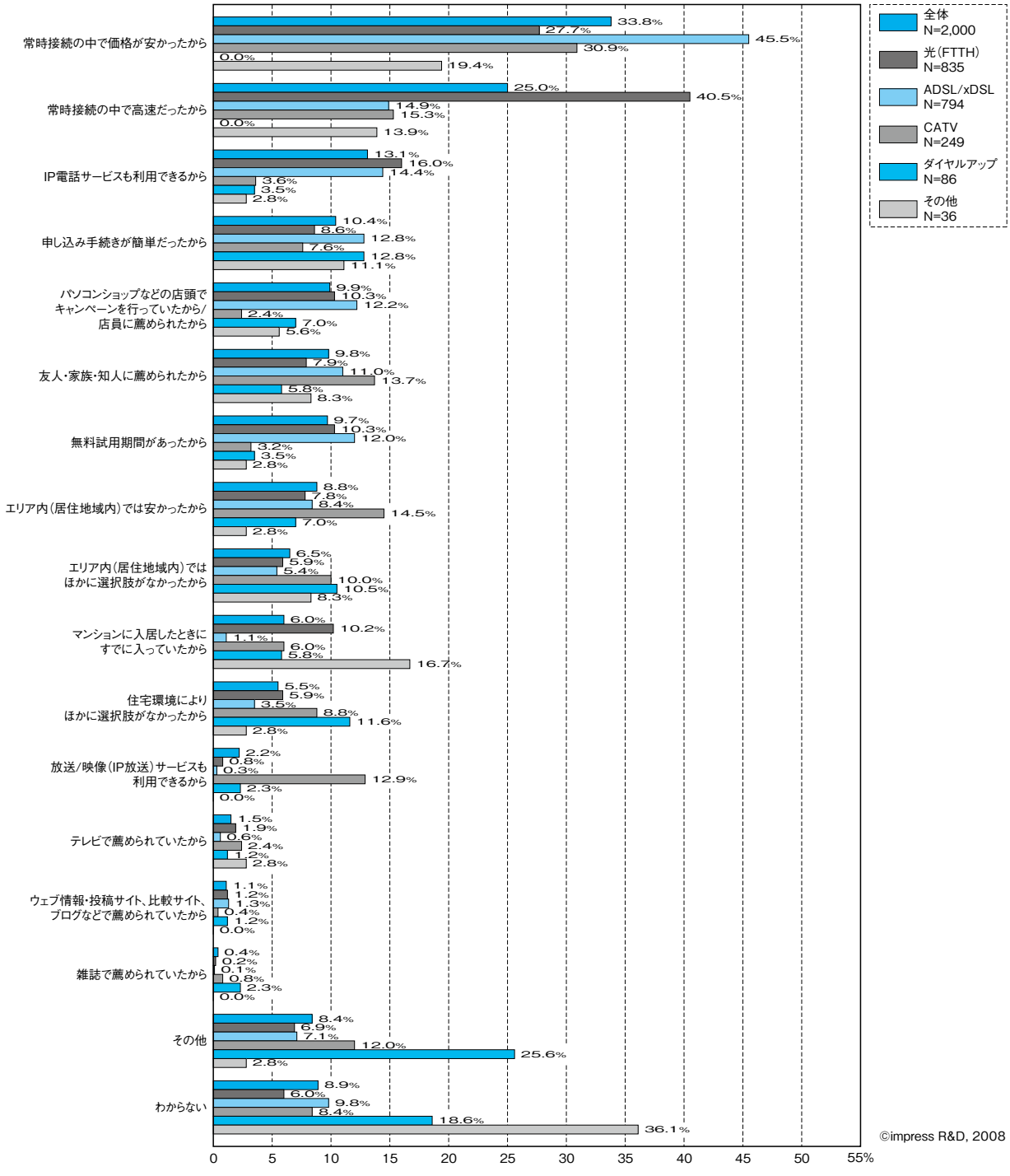
©impress R&D, 2008

インターネット白書／©1996-2012 Impress R&D

インフラ全体動向

ADSLは低価格、光では高速が選択理由

資料6-6-6　インターネット接続回線の選択理由(複数回答)［接続回線別］



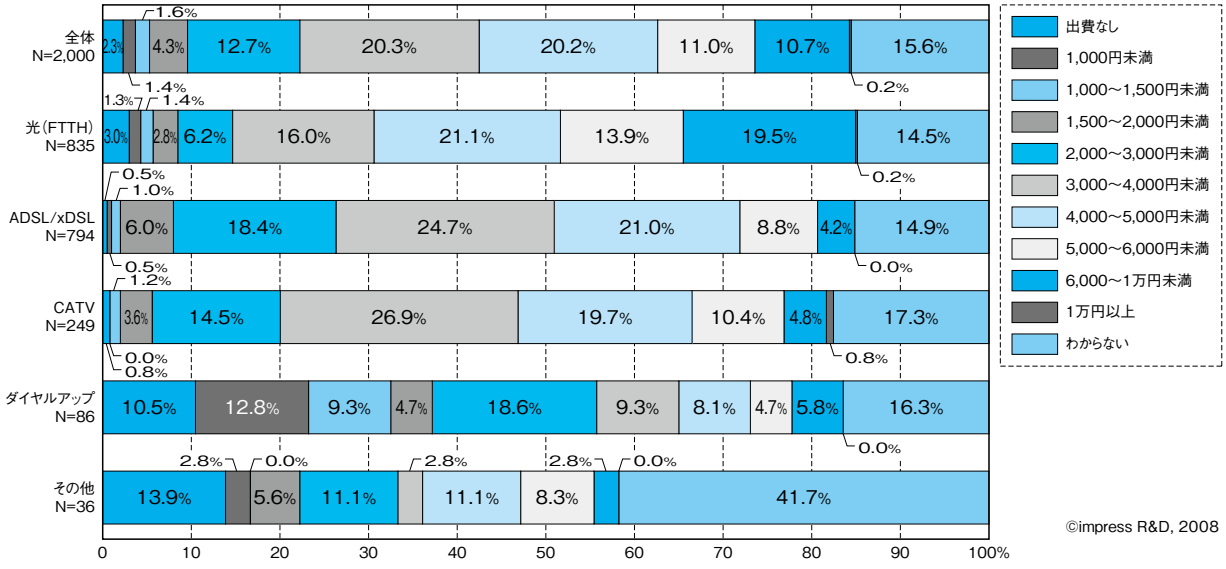
利用中の接続回線を選択した理由では、「常時接続の中で価格が安かったから」と「常時接続の中で高速だったから」が上位であり、常時接続の上に価格や速度が要因として挙げられている。接続回線別に見た場合、「ADSL/xDSL」では価格の安さが、「光(FTTH)」では高速であることが主要因である。

インターネット白書／©1996-2012 Impress R&D

インフラ全体動向

光(FTTH)利用者はADSLやCATVより利用料金が高い

資料6-6-7　1か月当たりのインターネット利用料金[接続回線別]

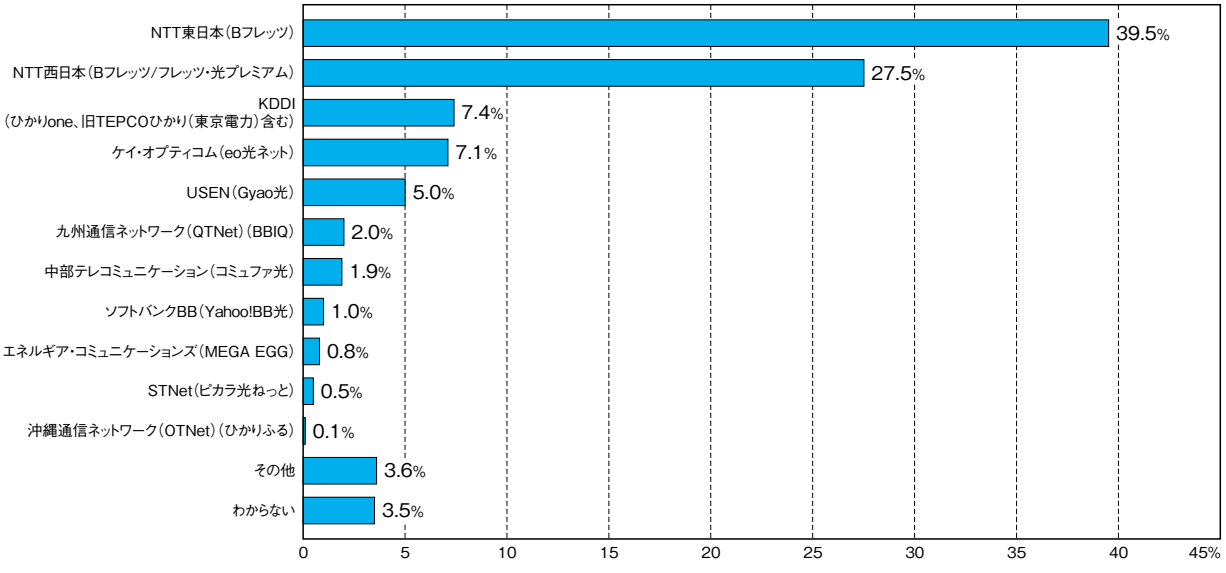


©impress R&D, 2008

接続回線とISPの料金を合わせた1か月当たりのインターネット利用料金をきいた。「光（FTTH）」は一戸建て向けとマンション向けのサービスで価格帯が異なるため、「4,000～5,000円未満」と「6,000～1万円未満」の2つの価格帯がピークで、「ADSL/xDSL」では「3,000～4,000円未満」が最も高い。

光はNTTが約7割のシェア

資料6-6-8　契約している光(FTTH)事業者(単一回答)　N=833



©impress R&D, 2008

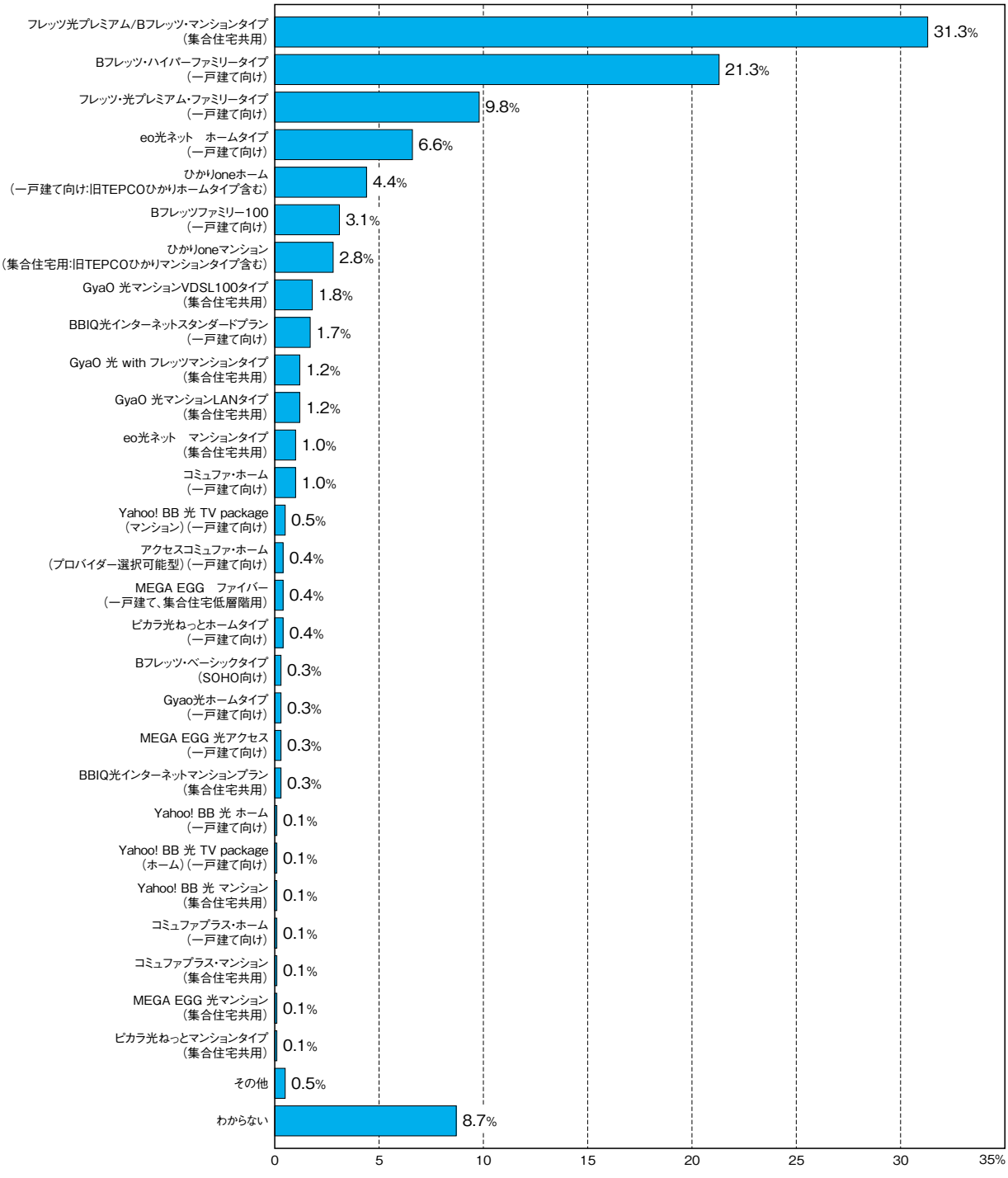
光(FTTH)回線利用者の契約事業者では、「NTT東日本(Bフレッツ)」が39.5%、「NTT西日本(Bフレッツ/フレッツ・光プレミアム)」が27.5%とNTT東西のシェアが67.0%、KDDIが7.4%、電力系事業者が合計で12.4%となっている。

インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

インフラ全体動向

NTT東西の提供サービスが上位を独占

資料6-6-9　光(FTTH)利用者の利用コース(単一回答)　N=774



光(FTTH)回線利用者の契約回線をみると、NTTのシェアが高いことから、「フレッツ光プレミアム/Bフレッツ・マンションタイプ(集合住宅共用)」と「Bフレッツ・ハイパーファミリータイプ(一戸建て向け)」の利用者が突出している。

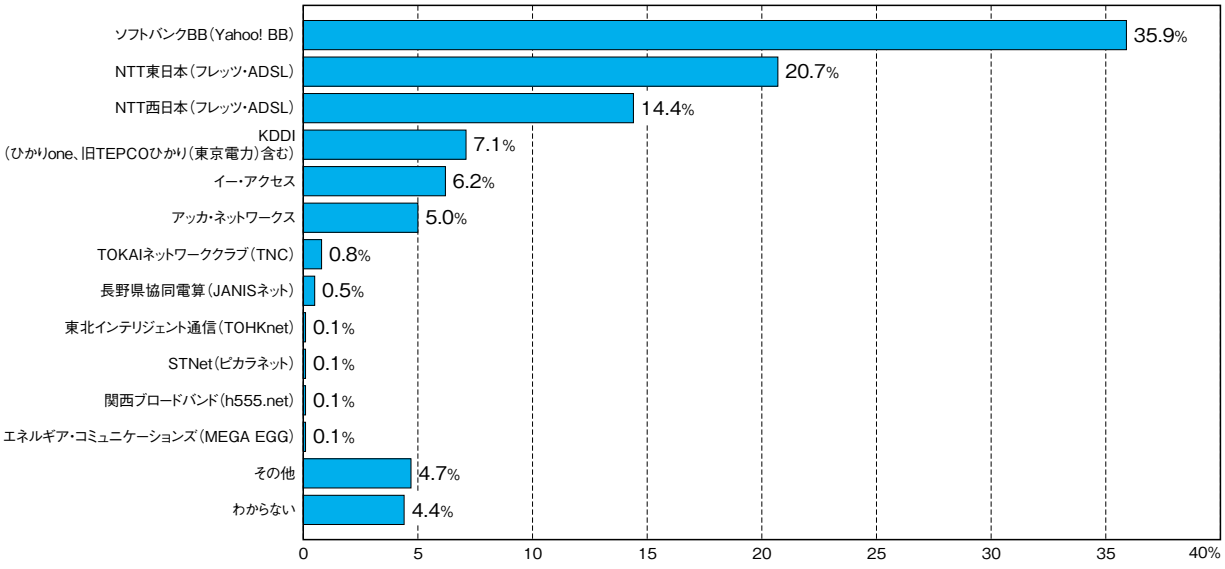
©impress R&D, 2008

インターネット白書／©1996-2012 Impress R&D

インフラ全体動向

ソフトバンクBBのシェアとNTT東西のシェアがほぼ等しい

資料6-6-10　契約しているADSL/xDSL事業者(単一回答)　N=794

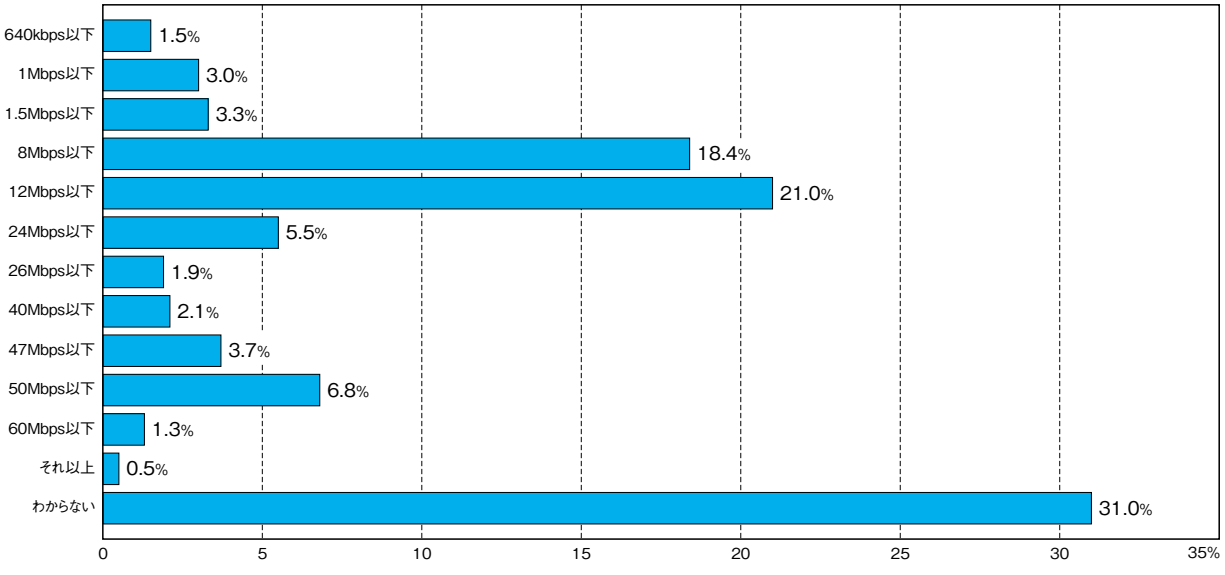


ADSL/xDSL回線利用者が契約している事業者は、「ソフトバンクBB (Yahoo! BB)」が35.9%で最も高く、次いで、「NTT東日本(フレッツ・ADSL)」「NTT西日本(フレッツ・ADSL)」の順である。NTT東西のシェアは合計で35.1%であり、ソフトバンクBBのシェアとほぼ等しい。

©impress R&D, 2008

ADSLは8Mbps以下、12Mbps以下が主流

資料6-6-11　ADSL/xDSL利用者が契約している通信速度(単一回答)　N=794



ADSL/xDSL回線利用者が契約している回線の通信速度は、「12Mbps以下」が21.0%、「8Mbps以下」が18.4%で主流である。プレミアクラスである「50Mbps以下」といった利用者も6.8%存在している。

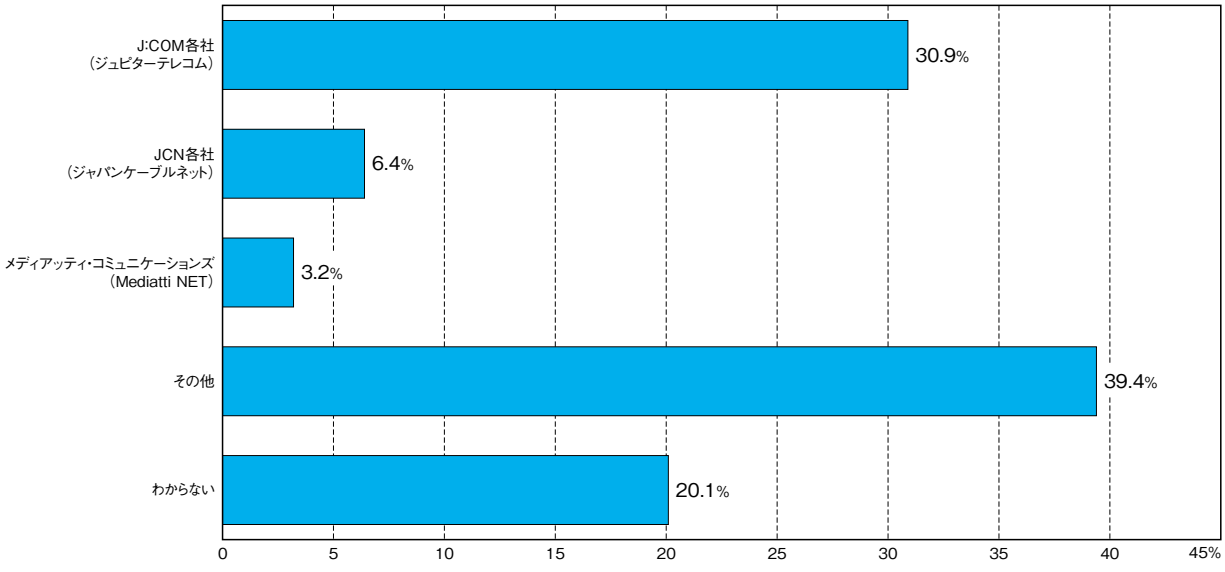
©impress R&D, 2008

インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

インフラ全体動向

CATVではJ:COMのシェアが３割

資料6-6-12　契約しているCATVインターネット事業者（単一回答）　N＝249

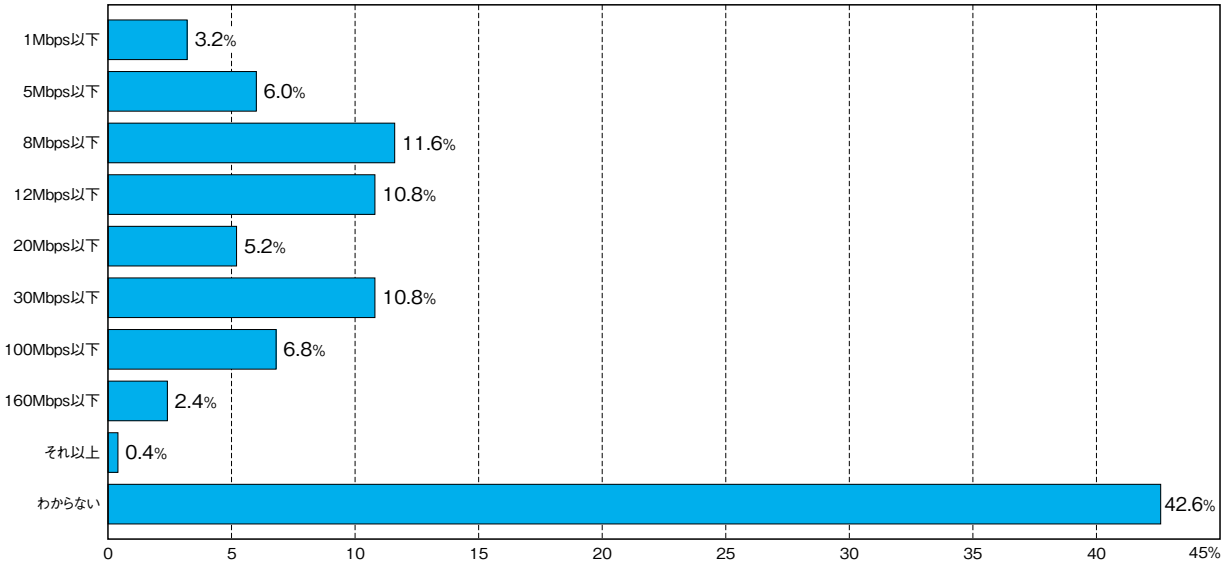


CATV回線利用者の契約事業者は「J：COM各社（ジュピターテレコム）」が30．9%と最もシェアが高い。ただし、CATV事業者は特定地域でのサービス提供であることから各事業者のシェアは低いため、「その他」が39．4%と高くなる。

©impress R&D, 2008

CATVの通信速度は８Mbps以下、12Mbps以下、30Mbps以下に分散

資料6-6-13　CATVインターネット利用者の通信速度（単一回答）　N＝249



CATV回線利用者の契約している通信速度は、「８Mbps以下」「12Mbps以下」「30Mbps以下」がそれぞれ10%超で通信速度は分散している。なお、一部のCATV事業者でサービスが提供され始めた光（FTTH）より高速な「160Mbps以下」は２．4%にとどまっている。

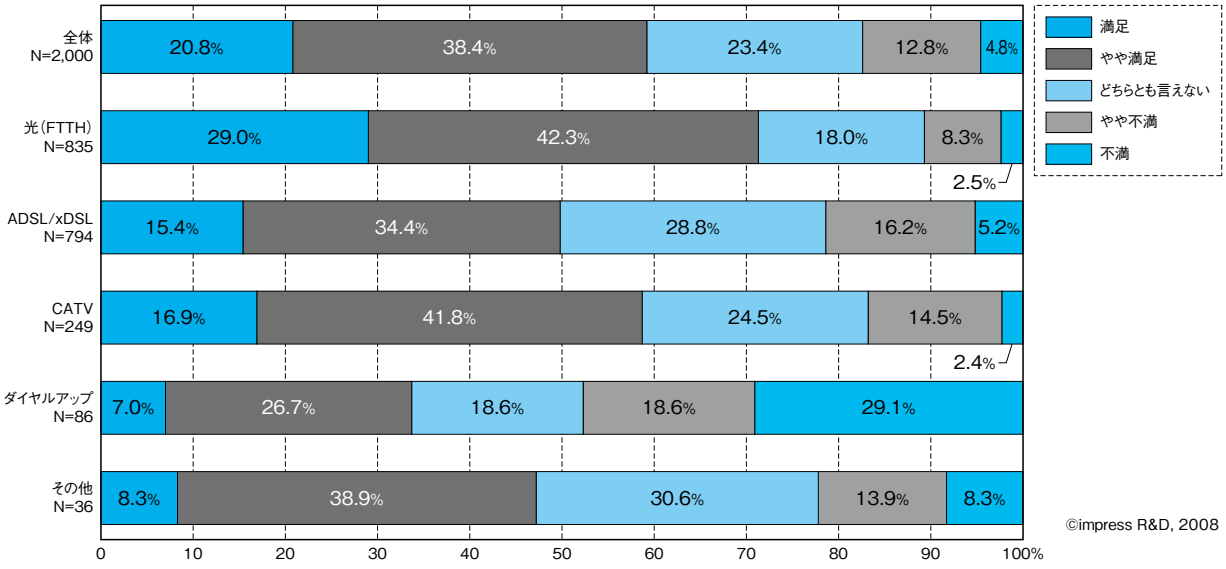
©impress R&D, 2008

インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

インフラ全体動向

回線品質・スピードの満足層は6割で、光は7割とさらに高い

資料6-6-14　回線品質・スピードについての満足度[接続回線別]

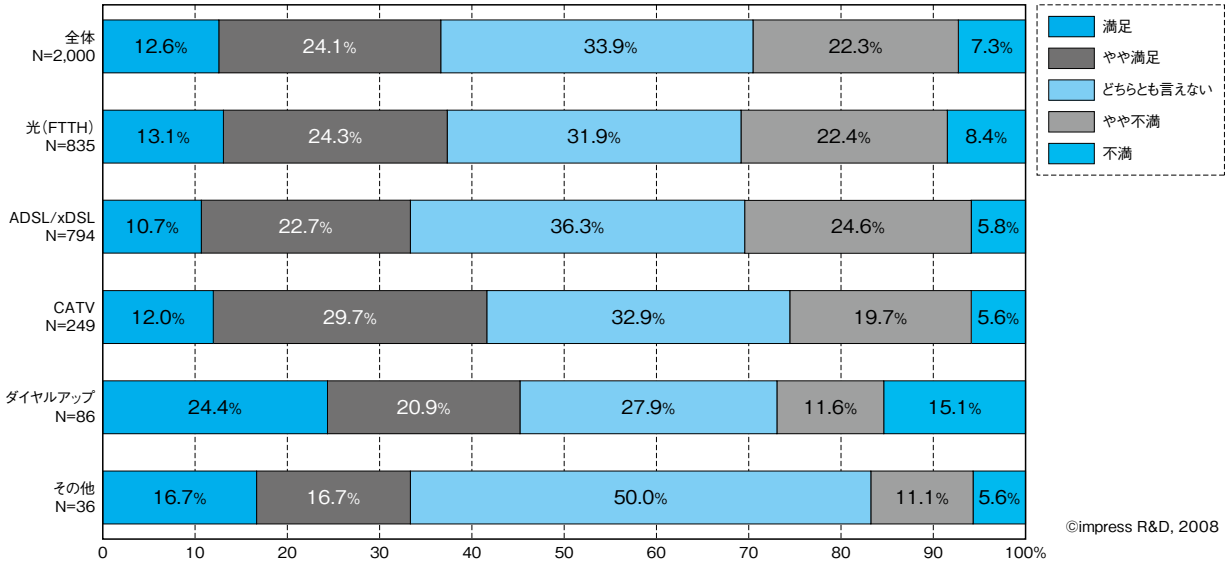


©impress R&D, 2008

利用している接続回線の品質とスピードについても満足度をみると、全体的に満足度は高く、「満足」と「やや満足」を合わせた満足層は59.2%である。接続回線別では、光(FTTH)の満足層が71.3%と最も高く、「CATV」が58.7%、「ADSL/xDSL」が49.8%の順である。

回線料金の満足層は36.7%

資料6-6-15　回線料金についての満足度[接続回線別]



©impress R&D, 2008

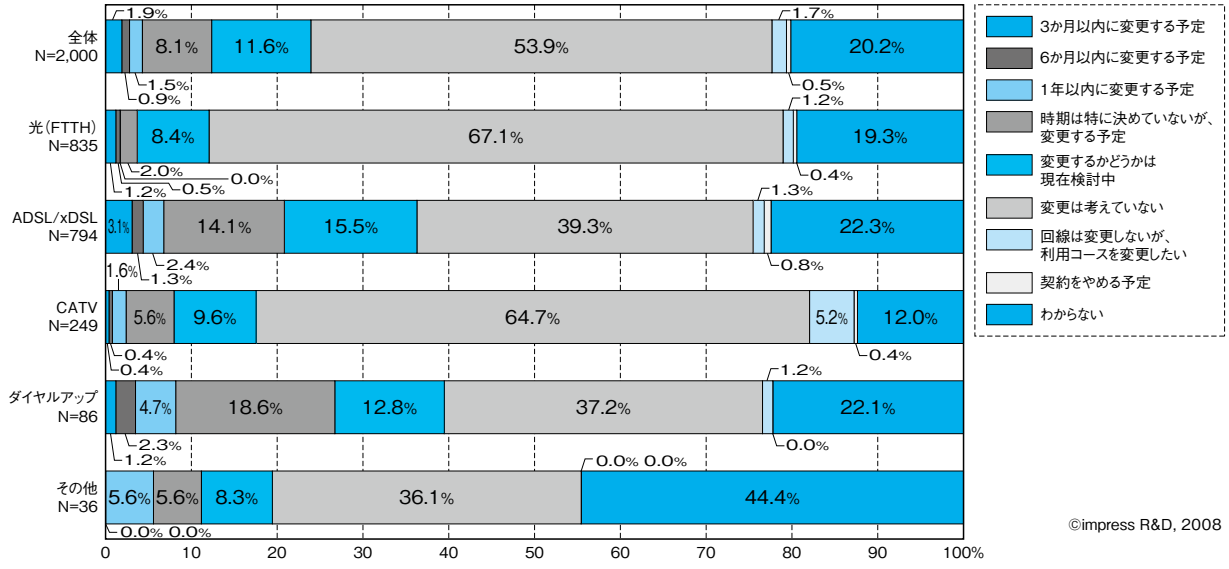
利用している接続回線の料金についての満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足層は全体で36.7%で、「どちらとも言えない」の33.9%、不満足層の29.6%をやや上回る。接続回線別ではブロードバンド利用者は大きな差はないが、「ADSL/xDSL」でやや満足層が少なく、「CATV」でやや満足層が多い。

インターネット白書／©1996-2012 Impress R&D

インフラ全体動向

ADSLやダイヤルアップ利用者で高い接続回線乗り換え意向

資料6-6-16　接続回線の乗り換え意向[接続回線別]

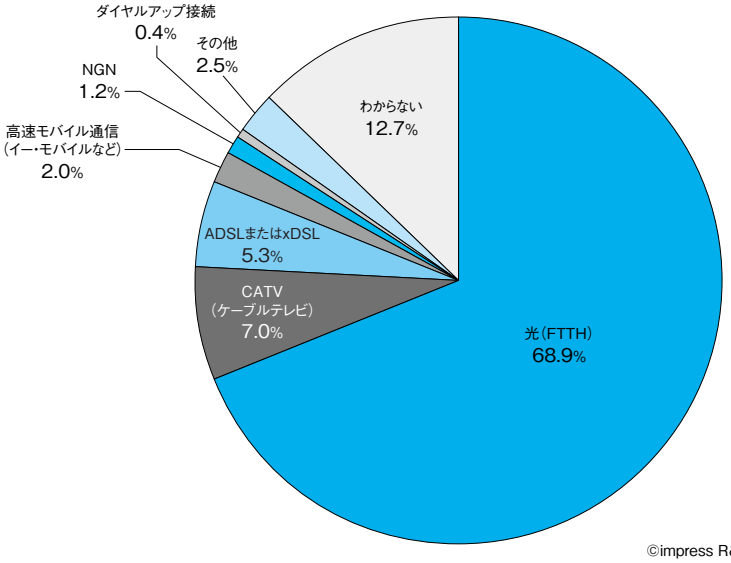


©impress R&D, 2008

接続回線の乗り換え意向をみると、「変更は考えていない」が53.9%であり、特に「光(FTTH)」で67.1%、「CATV」で64.7%と高い。一方、検討中も含めて変更意向をもつ人は全体で24.0%であり、「ダイヤルアップ」利用者や「ADSL/xDSL」利用者で4割近くに達する。

接続回線乗り換え先は光が大半

資料6-6-17　乗り換え予定の接続回線　N=244



©impress R&D, 2008

接続回線の乗り換え意向をもつ人の乗り換え予定の接続回線は、「光(FTTH)」が68.9%と大半を占めており、次いで「CATV」が7.0%、「ADSL/xDSL」が5.3%となっている。本書には掲載していないが、昨年の調査から「ADSL/xDSL」への意向が大きく減少している。なお、一部の地域でサービスが提供され始めた「NGN」はまだ1.2%である。

インターネット白書／©1996-2012 Impress R&D

インターネット白書 ARCHIVES
1996, 1997, 1998, 1999, 2000...

［インターネット白書ARCHIVES］ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

http://IWParchives.jp/

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- ●記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- ●収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- ●著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- ●このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- ●収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- ●オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先　株式会社インプレスR&D　iwp-info@impress.co.jp

©1996-2012 Impress R&D, All rights reserved.